

# 第77回Tohtechサロン

東北工業大学地域連携センターは、最新の技術・研究の動向や情報発信、技術提供など、地域産業、自治体、住民の皆さまと研究者との交流の場として「Tohtechサロン」を定期的を開催しております。

## 「海沿いに植えた広葉樹はどうなっているか」 ～在来種緑化の課題と取り組み～

樹を植えるという活動は成果が実感しやすく、企業の環境・CSR活動として人気がある取り組みですが、植えた後も大切です。また、何をどのように植えるかということについて慎重な配慮が求められる時代になってきました。本講座では、岩沼市や仙台市の海沿いで造成されている広葉樹林の現状を報告するとともに、在来種を用いた緑化の課題と取り組みについて紹介します。

### 講師



東北工業大学  
工学部環境エネルギー学科  
佐野 哲也 准教授



### ゲストスピーカー

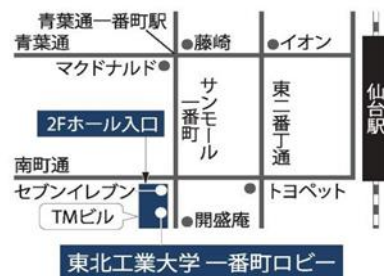


エスバックミック株式会社  
高野 義智 氏

- ◆日時：2020年3月6日(金) 16:30～18:00
- ◆会場：東北工業大学一番町ロビー 2階ホール  
(仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル)

- ◆主催：東北工業大学
- ◆参加費：無料  
※会場準備の都合上、事前申し込みをお願いいたします。

- ◆お申し込み・お問い合わせ  
東北工業大学 地域連携センター  
TEL：022-305-3810  
FAX：022-305-3808  
E-mail：rc-center@tohtech.ac.jp



創造から統合へー仙台からの発進  
東北工業大学

# 「海沿いに植えた広葉樹はどうなっているか」 ～在来種緑化の課題と取り組み～

## ◆Program◆

- 16:00 ～ 受付開始
- 16:30 ～ 開会の挨拶・趣旨説明「仙台湾における緑化について」
- 17:00 ～ 「岩沼・荒浜の広葉樹植栽地のモニタリング結果について」
- 17:20 ～ 「在来種緑化の課題～樹苗育成から植栽管理まで～」
- 17:50 ～ 質疑応答
- ～18:00 閉会の挨拶



2008年 博士（環境学）取得、横浜国立大学および東京大学で植物生態学（植生学）を専攻  
 2009年 森林総合研究所の土壌学の研究室でPD研究員として、森林土壌の炭素蓄積量推定、森林バイオマスのエネルギー利用に関する開発研究（燃焼灰の肥料利用）に従事、震災後は放射性物質モニタリング事業にも参画  
 2013年より本学にて教鞭をとる。  
 海沿いの広葉樹植栽地のモニタリング、森林バイオマスの循環利用に関する研究に従事

東北工業大学  
 工学部環境エネルギー学科  
 佐野 哲也 准教授

大手ゼネコンに就職、樹木を切り倒し続ける毎日に疑問を持ち転身。森づくりを先進するエスペックミック株式会社に入社する。東日本大震災を端緒に始まった岩沼市千年希望の丘プロジェクトでは、設計、施工指導、資材調達、苗木づくりを担当してきた。2012年から足掛け8年、33万本の森づくりに関わったことが誇りである。学生時代にパラグライダーで培った飛行感覚を活かし、育ちつつある森をドローンで空撮することがなによりの楽しみ。  
 43歳、二娘の父



エスペックミック株式会社  
 高野 義智 氏

## 《第77回Tohtechサロン参加申込書》

貴社・団体名／		
所属・役職	氏名	連絡先
	t e l	E-mail
	t e l	E-mail
	t e l	E-mail

◆お申し込みはFAXまたはE-mailでお願いします

◆送付先◆ 東北工業大学 地域連携センター

Tel: 022-305-3801

E-mail : [rc-center@tohtech.ac.jp](mailto:rc-center@tohtech.ac.jp)

Fax: 022-305-3808